

(様式第1号)

受理番号

農業経営計画（変更）認定申請書（団体用）

令和
年 月 日

鉛筆や消えるペンではなくボールペン等で記入してください！

大阪府知事 様

〒559-8555

主たる事務所の所在地 大阪市住之江区南港北1-14-16

自署・押印は不要となりました

団体 設立年月日を忘れず記入してください 南港宮農組合 代表 大阪 太郎

設立 成 令和 20年4月1日

計画の内容についてお尋ねすること
がありますので日中連絡の付く
電話番号を記入してください

電話番号 080-0000-0000

大阪府都市農業の推進及び農空間の保全と活用に関する
による
認定を申請します。

第12条第1項（変

更）の規定

（当てはまる方にチェック☑をしてください。）

計画満了に伴う更新も
「新規」となります

【個人情報の取り扱い】

（以下2点について確認し、チェック☑をしてください。）

- 市町村長及び農業委員会会長が収集した私の個人情報により、当該認定要件を満たしているかについて
確認することに

同意します。

チェック☑をしてください

- 当該計画が認定された場合は、計画実現のフォローアップ等のため、認定に係る情報を市町村、農地
中間管理機構、JA大阪中央会、営農地を所管するJA、大阪府担い手育成総合支援協議会（一
般社団
法人大阪府農業会議）等へ提供することに

同意します。

チェック☑をしてください

農業経営計画

1 農業経営計画及び農作業受託の現状及び目標

JAS有機の場合は（有機）、大阪エコの場合は
（エコ）と必ず記載してください。

農業経営計画作成年次または直近の現状を記載。

現状の5年後を目標年次とする。

< 農業経営 >

現状(2022年)					目標(2027年)				
作物名	作型	施設 形態	作付面積又 は飼養頭数 (a、頭 等)	出荷 販売量 (kg、本 等)	作物名	作型	施設 形態	作付面積又 は飼養頭数 (a、頭 等)	出荷 販売量 (kg、本等)
なす	半促成	ハ「イ」ハウス	10a	9,000kg	なす (有機)	促成 普通	半鉄骨ハウス 露地	10a 30a	15,000kg 2,500kg
枝豆	普通	露地	20a	1,800kg	枝豆 (エコ)				
きゅうり	抑制	ハ「イ」ハウス	20a	9,000kg	きゅうり 加工品	抑制 漬物	ハ「イ」ハウス	10a 100g / 袋	4,500kg 500袋
秋菊大輪	半電照	半鉄骨ハウス 波状型ハウス	10a	35,000本	秋菊大輪	半電照	半鉄骨ハウス 波状型ハウス	10a	40,000本
ぶどう テラカア	無加温二重		20a	3,400kg	ぶどう テラカア	超早期加温		20a	2,800kg
肉牛	普通	畜舎	40頭	30頭	肉牛		畜舎頭	50頭	40頭
水稲		露地	20a	450kg					
計			100a 40頭		計			80a 50頭	

- 作物名
 - ・なす、きゅうり、ぶどう、アスパラ、秋小菊、乳牛、水稲、加工品などを記載
 - ・大阪エコ農産物、有機農産物等については、作物名の下にカッコ書きで記載。
- 作型
 - ・促成、半促成、普通、抑制、加温半促成、加温抑制、無加温二重、春まき、夏まき、ハウス周年、露地などを記載。
 - ・加工品については、漬物、みそ、米粉パン、ポプリなど、加工の種類を記載。
- 施設形態
 - ・パイプハウス、半鉄骨ハウス、鉄骨ハウス、波状型ハウス、畜舎などを記載
- 作付面積、出荷販売量
 - ・単位は、a（アール）、kg（水稲・野菜・果樹等）、個、本（花き等）、頭、匹、g / 袋などを記載。

<農>

現状（2022年）		目標（2027年）	
主な出荷・販売先	〇〇直売所、JA〇〇	主な出荷・販売先	〇〇直売所、JA〇〇 産直定期便

基幹的な作業（別紙）を参照に記載。

<農作業受託>

現状（2022年）			目標（2027年）		
作物名	基幹的な受託作業	面積（a）	作物名	基幹的な受託作業	面積（a）
水稲	耕起・整地、播種及び収穫	各30a	水稲	耕起・整地、播種及び収穫	各100a

延べ面積の合計を記載。

<農業従事日数等>

現状（2022年）		目標（2027年）	
構成員数（うち農業者数）	5人（4人）	構成員数（うち農業者数）	10人（8人）
合計農業従事日数	500日	合計農業従事日数	1000日

【該当する項目をチェックし、その内容についてできるだけ具体的に（実施時期やその手法について）記載してください。】

●経営規模の拡大

農地の購入

原則として、1つ以上の項目についてチェック及び「実施時期」「具体的な手法・手段」の記入を必須とします。関係機関が支援するために必要な情報ですのでできる限り具体的に記入

実施時期 2023年～2025年	具体的な手法・手段 組合員の増員による受託面積の拡大
---------------------	-------------------------------

●生産方式の合理化

施設・機械の更新・導入 新規作物及び品種の導入 栽培・肥育における新技術の導入
 6次産業化 その他（ ）

実施時期 2024年	具体的な手法・手段 取引先の要望によるパクチャーの導入
---------------	--------------------------------

●経営管理の合理化

出荷販売方法の改善 税務申告方式の変更 法人化
 資金の調達方法の改善 その他（ ）

実施時期 2027年	具体的な手法・手段 各種制度の主体となれるよう法人化
---------------	-------------------------------

●農業従事態様等の改善

休日制の導入 給料制を導入 雇用の活用 その他（ ）

実施時期	具体的な手法・手段
------	-----------

取り組む予定のない項目は記入する必要はありません。

●環境に配慮した農産物の生産促進

大阪エコ農産物の認証 有機農業への取組 その他（ ）

実施時期	具体的な手法・手段
● G A P (農業生産工程管理) 認証の取得等 <input type="checkbox"/> 国際水準 G A P の取得 <input type="checkbox"/> J G A P の取得 <input type="checkbox"/> 簡易 G A P 等の導入	
実施時期	具体的な手法・手段
2 目標達成のためにとるべき措置 <<備考>> 団体が申請する場合には、事業目的、構成員名簿及び直近 1 年間の活動内容がわかる資料を添付してください。	